



船中螢

増山三雪子

船やかたこさ行く方に三つ二つ

闇をうれしととぶ螢かな

水野忠敬

たへがたき暑さをよそに隅田川

船まちかくもとぶ螢かな

諏訪忠元

月夜よし夜よしと舟をこぎ行けば

風に螢のみたれてぞくる

印東昌綱

いざ舟子船さしとめよ川くまの

岸のあしまの螢かりせん

龜野源量

玉川を船こさ行けば桃そのゝ

青葉のかげに螢とぶなり

大橋文之

夜船こゝ音も涼しき川波に

うち亂れても飛ぶ螢かな

大竹伊勢子

少女子の團扇の風に招かれて

舟のほとりを飛ぶ螢かな

相澤求

みそさして歸る夕べの川船に

かげも涼しく飛ぶ螢かな

柴生田 たつ子

加茂川の清き流を舟やれば

玉とみだれて螢とぶなり

頭本春子

船のぼる淀の小川の夕風に

さねぬ光は螢なりけり

